

今日のトピック

最近の指標から見るインド経済(2014年8月)

景気は輸出拡大と経済構造改革により堅調

ポイント1 生産、輸出は底堅く推移

今後は外需の改善に支えられ回復

■6月の鉱工業生産指数は前年同月比+3.4%と前月(同+5.0%、改定値)から伸びが鈍化しました。7月の輸出は同+7.3%と前月(同+10.2%)から伸びが鈍化しました。いずれも足元では鈍化傾向にあるものの、底堅さが見られます。

■生産と輸出は、米国経済の回復や中国経済の安定化などを受け、今後緩やかに回復することが見込まれます。

ポイント2 物価上昇率は緩やかな低下へ

政策金利は当面据え置き

■7月の消費者物価指数は、前年同月比+7.96%と前月(同+7.46%)から加速しました。野菜価格の上昇が主な要因です。今後は収穫の増加などにより落ち着きそうです。また、工業製品などには落ち着きが見られます。物価上昇率は、政府やRBIによるこれまでの物価抑制策の効果などから、緩やかな低下が見込まれます。中期的にも、RBIが物価抑制への取り組みを強化していることなどから、RBIの目標に向け低下基調となりそうです。

■RBIは8月5日の会合で政策金利を8.0%に据え置きました。RBIは、物価が緩やかな低下基調にあると見ており政策金利を当面据え置きそうです。

今後の展開

景気は輸出の拡大と新政権の経済構造改革により堅調な推移へ

■景気は、米国経済の回復、中国経済の安定化などによる輸出に支えられた回復が見込まれます。

■物価上昇率は緩やかな低下が見込まれます。市場では来年の利下げ観測が強まっており、企業の資金調達環境の改善が期待されます。

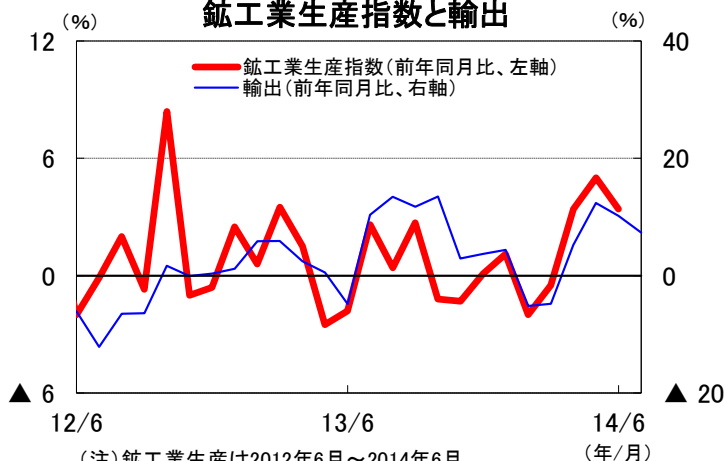
■モディ政権は、単独過半数となる議席数を獲得したことを強みとし、行政改革やインフラ投資などで経済の立て直しを目指しています。行政や税制面での改善などにより、海外からの直接投資の拡大も見込まれ、中長期的な経済成長が期待できそうです。

ここも チェック!

2014年07月30日【キーワード No.1,381】マレーシア利上げ後のアジア新興国の金融政策(アジア)
2014年07月23日【デイリー No.1,919】インド株式市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

鉱工業生産指数と輸出



消費者物価指数

